石県柔連だより

第26号
2026年 4月18日
発　行　石川県柔道連盟
編　集　広 報 委 員 会

県柔連会長
中西　茂宏

夢の実現のためには…

私の知り合いが、山形県のゼネコン関係で働いているのですが、６０歳を契機に少しでも人の役に立ちたいと考え、能登半島地震の復興の手伝いに、昨年４月に石川県に来県しました。期間は５年間で単身できております。本人としては、能登半島地震の被害の現地での仕事を希望してきたのですが、現在は石川県庁内で復興関係の仕事に携わっています。

本人曰く、県庁で働く人の意識が能登半島の人達とズレているのではないか、もっと寄り添わなくてはいけないとよく話します。また中には「今さら地震なんて」と言う人も身近に何人もいると話しております。２年の間に私たちの意識は能登から離れたのでしょうか。

そういう中で、県柔道連盟の能登半島復興委員会も閉じてもなお、たくさんの全国からの支援金、子供達への復興のサポートイベント実績が残りました。大変ありがたい事です。感謝の気持ちしかありません。

しかし、地震の影響も大きいのでしょうが、全日本柔道連盟の県別の柔道人口減少では、石川県は一番大きくワースト１となりました。小学生での能登地区でのガンバリの芽が出てきているところもありますが、中学、高校とつなげていかなくてはいけません。

よく予備校等のテレビコマーシャルで、「夢は実現する」という言葉を言われています。私に言わせると、夢はほとんどの人は実現出来るはずが無いというのが私見なのですが、そういう大きなことを言って、子供たちを予備校などへ勧誘するの私はおかしいと思っております。

その中で昨年アメリカのMLBで殿堂入りしたイチローさんのスピーチで、「夢を語るだけでは実現しない。その夢を短い期間の目標に変え、それをまた月刊、週間、毎日の実行段階の実践項目に落とし込みをしないと夢なんて実現しない。毎日、同じことをコツコツと実行する。夢と目標は違う」ということを言ってました。日本アメリカ通算４３００本の安打を達成したイチローさんの殿堂入り、イチローさんが言う事はまさにその通りです。

そういったことが大雑把になっているのではないでしょうか。子供たちの夢の実現のために、夢は毎年変わっていってもいいのですが、より具体的な目標、そして実践の行動計画に落とし込むことが大事です。それを手伝うのが我々の役目ではないでしょうか。夢を言っているだけで放置してしまうことは、大ボラ吹きと一緒です。

能登で、金沢で、加賀で柔道している人たち、みんな夢を持っています。そのたくさんの人をお手伝いして、夢の実現に近づけていければ、石川県の柔道としても良い結果に繋がってくるのではないでしょうか。

長期育成指針に基づいた
革新的パスウェイ実証実験【石川モデル】事業

革新的パスウェイとは？

全日本柔道連盟が示した「長期育成指針」では、競技者が育っていく道筋を「アスリートパスウェイ」という言葉で表しています。その中でも特に重要な考え方として示されているのが、「伝統的パスウェイ」からの転換、すなわち「革新的パスウェイ」の確立です。

難しく聞こえますが、考え方はシンプルです。指導者をはじめとする柔道関係者がその本質を理解し、各地で実践していくことが求められています。

●伝統的パスウェイとは何か

伝統的パスウェイとは、偶然的な要素に大きく左右される育成の形を指します。例えば、

- **たまたま柔道に適性があった**
- **たまたま指導者や指導法との相性がよかった**
- **たまたま環境に恵まれていた**

といった要因によって成長が左右される形です。このモデルでは、指導者や環境との「出会い」に大きく依存する傾向があります。また、指導が画一的になりやすく、そこに適応できない選手は継続しにくいという構造も少なくありません。結果として、成功確率の低い指導法が容認されてきた側面もあります。

さらに、柔道人口の減少が進む中、伝統的パスウェイだけでは有力選手を安定的な育成が難しくなる可能性があります。加えて、競技性が強調されるあまり、個々の柔道への目的（楽しみ、健康、生涯継続など）に応じた関わり方が十分に保障されず、柔道の持つ多様な価値を共有しにくいという課題も指摘されています。

●革新的パスウェイとは何か

革新的パスウェイとは、偶然性を極力排除し、発育発達段階の特性を踏まえて効果的に育成する道筋です。具体的には、

- **発育発達段階を考慮した育成**
- **科学的根拠に基づく指導**
- **個々に適した指導の実践**

といった視点を重視します。目指す姿は、「どの選手が、どこで柔道を始めても、その発育発達段階に応じて、無理なく最大限に成長できる道筋を設計すること」です。

これは単に競技力向上を効率化するという意味ではありません。選手一人ひとりの成長を長期的視点で支え、再現性のある育成環境を整えていくことを意味しています。

●これからの実践に向けて

革新的パスウェイを通して、私たちは多様な目的に合致した柔道の実践を各地で展開していく必要があります。

- **生涯柔道としての実践**
- **ハイパフォーマンススポーツとしての育成**
- **身体活動・健康づくり**
- **運動遊びとしての導入**

こうした多様な入り口と出口を認め、そのすべてを支える仕組みを整えていくことが求められています。石川モデルでは、県全体としてその設計・施策立案・現場支援を担い、革新的パスウェイの実装を推進していきます。

石川モデル発足までのあゆみ

石井孝法氏
長期育成指針 共同作成者
NPO スポーツコーチングアカデミア
代表理事

2017 年、若手指導者育成事業 石川県強化講習会にて、石井孝法氏を招聘したことが、本取り組みの出発点となりました。その後、コロナ禍を挟みながらも、石井氏には継続的に石川県の指導者と関わっていただき、現場との対話を重ねてきた経緯があります。
そして 2023 年、全日本柔道連盟より、「長期育成指針」が発行されました。

石川県内では、石川県柔道連盟普及振興委員長を務めていた近藤が、長期育成指針推進委員に就任したことを契機に、長期育成指針の具体的実践へと落とし込むための検討を開始しました。その中で、石井氏とも協議を重ね、石川県を対象に、革新的パスウェイ実証実験「石川モデル」事業がスタートすることとなりました。

石川県の柔道人口は、2019 年の 1859 人から 2024 年には 1236 人へと減少し、5 年間で約 66％にまで落ち込んでいます。その減少率は、全国でもトップクラスに位置する深刻な状況です。このような危機的状況を打開するためにも、革新的パスウェイの確立は急務であると考えています。石川県の柔道に関わるすべての人が当事者となり、柔道の多様な価値を広く社会に伝えていき、その積み重ねの先に、柔道人口の回復、持続的な環境の確立があると信じています。本原稿をお読みいただいた皆様におかれましては、是非本取り組みの趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

図 1　石川県と全国平均における柔道人口減少率の比較

石川モデル発足までのあゆみ

●目指す方向性

- **革新的パスウェイへの転換**
  →偶然性を極力排除した育成体制へ
- **柔道の価値の伝播**
  →技術だけでなく、人間形成、教育的価値を広く社会へ伝える
- **石川県の指導者が世界一の集団になる！**
  →指導力の質を高める
- **柔道人口の増加、復帰、継続**
  →始める人を増やし、各人の目的に応じた柔道への関わりができる環境へ

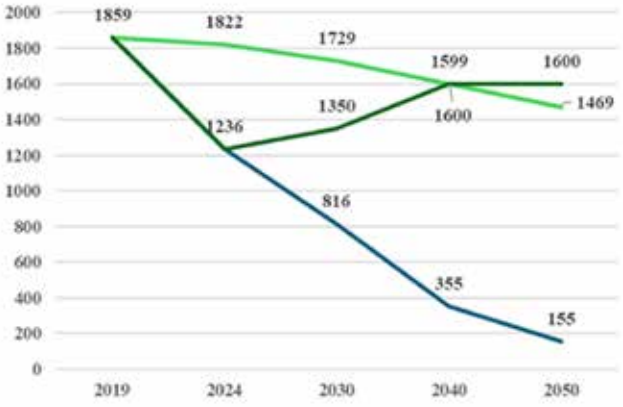


図２　石川県の総人口推計に合わせた
柔道人口増加モデル（案）

●実施内容

〈環境の整備〉

・発育のモニタリング　体力評価会、身長体重のモニタリング
・発達のモニタリング　動きの質の評価、昇級制度の見直し
・チーム毎の課題解決　現状把握からサポートへ
・機会の創出　大会、講習、練習、体験の環境づくり。拠点づくりも並行して行う。
・情報の伝達　ポータルサイト、SNS の活用、直接情報を享受できる環境の整備、相互のやり取り・学びの場の整備

〈指導者の育成〉

・勉強会、講習会
・情報交換会
・インターン、学生の活動
・仕事の整備

石川モデルの中核の一つは指導者です。指導者の質の向上こそが、長期的な競技力向上と普及の根幹となります。

〈プログラムのデザイン〉

・上記を踏まえて各チーム、各人に最適なプログラムを作成
・各段階に応じたメニューレシピ、練習方法の公開

チーム、個人の状況に応じて最適化を図ります。

2025 年度成果と 2026 年度展望

●2025 年度　「土台作り」

2025 年度は、「石川モデル」の考え方を県内に提示し、理解を広げる一年となりました。まず、県柔道連盟会長・理事長への説明、理事会でのプレゼンテーションの機会をいただき、石川モデルの目的と方向性を公式に共有することができました。

実践面では、

- **体力評価会（第 1 回・第 2 回）の実施**
- **身長・体重のモニタリング開始（現在 3 チーム）**
- **チャレンジマッチの開催**
- **技術的指標の検討会実施**

を通して、モデル事業全体の骨組みになる活動をスタートさせています。

特にチャレンジマッチでは、

- **多様な評価軸と表彰項目の設定**
- **エキスパート／チャレンジ／パフォーマンスのカテゴリー分け**
- **当日計量と体重差を考慮した組み合わせ**
- **1 人 3 試合の保証**
- **優勝者を決めない方式**

といった「自分自身の成長を感じられる」新しい大会設計に挑戦しました。

体力測定会の様子

常任理事会での石川モデル説明の機会

2025 年度チャレンジマッチ

指導者勉強会　金丸雄介氏、越田専太郎氏を招いて

2026 年度　「組織化と拡張」

2026 年度は、2025 年度の取り組みを仕組みとして確立し、持続可能な形へと進化させる一年としたいと考えています。

❶組織体制の構築

事業推進チームの明確化、役割分担の整理を行い、将来的な NPO 法人設立も目指しています。また、個人の活動から、組織としての活動へと移行していく段階としたいと考えています。

❷情報発信基盤の整備

石川モデル事業の情報発信方法を構築していきます。

- **ポータルサイトの開設**
- **Discord やオープンチャットの活用**
- **記録・データの蓄積と共有**

閉じた取り組みではなく、開かれた育成モデルとして発信することで、県外や国外からも学びに来ていただけるだけの環境の構築を目指しています。

❸専門的知見との連携

石井孝法氏による県内各道場訪問を通して、理論と現場の接続を図っていきたいと考えております。一過性の講習ではなく、継続的な対話から各チームの課題を共有していけたらと思います。

また、技術的指標の検討会で議論を重ね、昇級制度を、柔道の技術をよりよく学べる制度に発展させていけるよう検討を重ねています

❹大会設計の発展

- **小学生カテゴリー大会（多様な評価基準を採用）**
- **その他年代（中学生、高校生、U21）ごとに適切な育成視点を取り入れた大会設計**

❺拠点づくり

平日に誰でも参加可能な学びの場、稽古の場を構築し、所属を超えた育成のハブを形成できるよう準備していきます。

❻発育発達の継続的モニタリング

- **体力測定会 年 4 回実施**
- **各チームでの定期的な身長・体重測定**

成長のデータを蓄積し、長期的な育成環境を目指しています。

❼指導者育成

大学生の指導参加（次世代指導者育成を兼ねる）をはじめ、勉強会や情報交換会を実施し、選手育成と並行して、指導者の学びの循環を生み出していきたいと考えています。積極的な参加をお待ちしております。

❽外部連携

学校との連携、他競技との連携、保護者へのアプローチなど、柔道界の内側だけで完結しない、社会と接続した育成環境の構築を目指しています。

❾普及・入口支援（柔道人口増加への取り組み）

各年代における「柔道を始める人の増加」を支援します。各チーム単体では難しい広報や募集活動を、石川モデルとしてサポートしていく仕組みを構築します。

- **統一広報素材の作成（チラシ、SNS テンプレート等）**
- **体験会の企画支援**
- **初心者向け導入プログラムの共有**
- **保護者向け情報発信の整備**
- **「復帰層」へのアプローチ（再開しやすい環境づくり）**

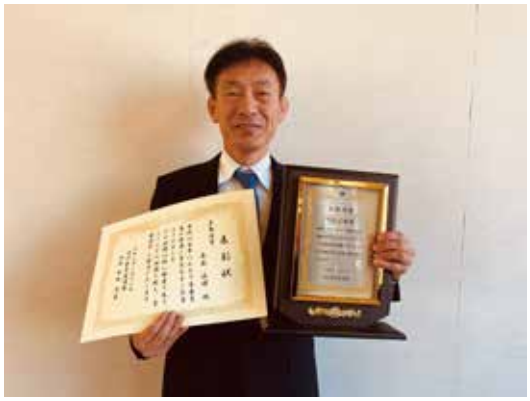
「強くする」だけでなく、「始めやすく、続けやすい」環境づくりを目指します。

まとめ

2025 年度は土台づくりの一年、2026 年度は本格運用に向けた拡張の一年となります。
石川モデルの取り組みは、これまで地域の柔道環境を築き上げてこられた皆様とともに、石川県柔道が一体となって普及・育成に取り組んでいくための体制づくりです。全く新しいものを一から創り上げるのではなく、これまで培われてきた価値や実践を尊重し、それらを補完し、支え、より良い形へとつなげていくための仕組みです。柔道に関わるすべての人が、それぞれの立場から柔道の多様な価値を伝えていける環境を整えていきたいと考えています。
引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス

本出正博先生が令和 7 年度柔無涯賞受賞



本出正博先生

「柔無涯（じゅうむがい）賞」は、石川県柔道連盟が柔道の普及や発展に貢献した個人や団体に授与する表彰制度です。

令和 7 年度は、長きにわたり中学生の柔道指導に携わり、また県柔連の常任理事等、現場・裏方双方から貢献された本出正博先生が受賞されました。

大会成績

〈 小 学 生 〉

◆第22回 石川県小学生学年別柔道大会

R7/6/22　石川県立武道館

小学1年男女混合 軽量級 優勝 丸山 慶翔 （坂田）
小学1年男女混合 重量級 優勝 河村 碧惟 （坂田）
小学2年男女混合 軽量級 優勝 魚住 啓人 （坂田）
小学2年男女混合 重量級 優勝 長岡 利紀 （内灘）
小学3年男女混合 軽量級 優勝 竹本 隆人 （坂田）
小学3年男女混合 重量級 優勝 谷口 晴翔 （小松）
小学4年男子　軽量級 優勝 角地 恒志朗 （輪島）
小学4年男子　重量級 優勝 中村 凱 （鶴来道場）
小学4年女子　軽量級 優勝 永井 夏帆 （小松）
小学4年女子　重量級 優勝 嶋中 環奈 （小松）
小学5年男子　45kg級 優勝 坂井 舶人 （坂田）
小学5年男子　45kg超級 優勝 山根 明青 （小松）
小学5年女子　40kg級 優勝 藤本 柚栞 （松任）
小学5年女子　40kg超級 優勝 裏 ほたる （志賀町）
小学6年男子　50kg級 優勝 吉野 颯馬 （邑知）
小学6年男子　50kg超級 優勝 中山 永宝 （松任）
小学6年女子　45kg級 優勝 村尾 苺香 （小松）
小学6年女子　45kg超級 優勝 宮森 凛々羽 （輪島）

◆第50回石川県少年少女柔道大会

R7/11/9　石川県立武道館

団体戦7人制の部 優勝　全日本柔道少年団小松分団　2位　鶴来坂田道場A 3位　鶴来坂田道場B　3位　松任柔道スポーツ少年団 5位　邑知少年柔道教室A
団体戦高学年3人制の部 優勝　志賀町少年柔道教室　2位　内灘町少年柔道教室A 3位　全日本柔道少年団小松分団B　3位　全日本柔道少年団小松分団A
団体戦低学年3人制の部 優勝　松任柔道スポーツ少年団　2位　全日本柔道少年団小松分団A 3位　鶴来道場　3位　内灘町少年柔道教室A

◆第46回全国少年柔道大会石川県予選大会 結果

R8/3/15　石川県立武道館

団体戦　優勝　全日本柔道少年団小松分団A　2位　鶴来坂田道場 3位　松任柔道スポーツ少年団　3位　窪田柔道倶楽部	
男子個人	女子個人
小学3年 優勝 竹本 隆人（坂田）	小学3年 優勝 房 由依奈 （小松）
小学4年 優勝 廿日岩 佳希（坂田）	小学4年 優勝 嶋中 環奈 （小松）
小学5年 優勝 山根 明青（小松）	小学5年 優勝 裏 ほたる （志賀町）
小学6年軽量級 優勝 柴山 雄太朗（鶴来）	小学6年軽量級 優勝 村尾 苺香（小松）
小学6年中量級 優勝 村上 雄哉（坂田）	
小学6年重量級 優勝 中山 永宝（松任）	小学6年重量級 優勝 宮森 凛々羽（輪島）

〈 中 学 生 〉

◆第68回 石川県中学校柔道大会

R7/7/12～13　石川県立武道館

男子団体 優勝 北辰中　2位 高尾台中　3位 邑知中　3位 鶴来中 女子団体 優勝 笠間中　2位 小松桜木　3位 石川県立武道館　3位 邑知中	
男子個人	女子個人
50kg級 優勝 寺井 誠也（邑知中）	40kg級 優勝 大西 七夏（笠間中）
55kg級 優勝 宇谷 慶（北辰中）	44kg級 優勝 西田 莉衣桜（高尾台中）
60kg級 優勝 川浪 翔悟（北辰中）	48kg級 優勝 竹田 朱那（七尾柔協）
66kg級 優勝 湯口 侑希耶（鶴来中）	52kg級 優勝 樫野 愛里（北辰中）
73kg級 優勝 吉田 寛智（鶴来中）	57kg級 優勝 嶋中 環希（小松桜木）
81kg級 優勝 廿日岩 逞馬（北辰中）	63kg級 優勝 西出 雛乃（笠間中）
90kg級 優勝 高野 翔（北辰中）	70kg級 優勝 生田 彩恵（県武）
90kg超級 優勝 松本 陽向（邑知中）	70kg超級 優勝 小坂 愛心（松任中）

◆第46回北信越中学校総合体育大会柔道競技

R7/8/6　福井県立武道館

男子団体 優勝 北辰中 女子団体 3位 小松桜木	
男子個人	女子個人
50kg級 3位 北濱 虎太桜（北辰中）	40kg級 3位 中村 柚稀（北辰中）
55kg級 3位 加藤 太一（志賀中）	3位 大西 七夏（笠間中）
60kg級 優勝 川浪 翔悟（北辰中）	48kg級 2位 竹田 朱那（七尾柔協）
66kg級 2位 湯口 侑希耶（鶴来中）	52kg級 3位 吉野 結（邑知中）
73kg級	57kg級
81kg級 優勝 廿日岩 逞馬（北辰中）	63kg級 3位 西出 雛乃（笠間中）
90kg級	70kg級 2位 生田 彩恵（県武）
90kg超級 2位 松本 陽向（邑知中）	70kg超級

◆第56回全国中学校柔道大会

R7/8/19～22　福岡市総合体育館（福岡県）

男子団体　北辰中 1勝1敗 戦績予選リーグ 敗退 予選リーグ 2-3 九州学院中（熊本県） 3-1有和中（和歌山県） 女子団体　笠間中 0勝2敗 戦績 予選リーグ敗退 予選リーグ 1-2高川学園（山口県） 0-3朝飛道場（神奈川県）	
男子個人	女子個人
50kg級 寺井 誠也（邑知中）1回戦敗退	40kg級 大西 七夏（笠間中）2回戦敗退
55kg級 宇谷 慶（北辰中）2回戦敗退	44kg級 西田 莉衣桜（高尾台中）1回戦敗退
60kg級 川浪 翔悟（北辰中）2回戦敗退	48kg級 竹田 朱那（七尾柔協）2回戦敗退
66kg級 湯口 侑希耶（鶴来中）3回戦敗退	52kg級 樫野 愛里（北辰中）1回戦敗退
73kg級 吉田 寛智（鶴来中）2回戦敗退	57kg級 嶋中 環希（小松桜木）1回戦敗退
81kg級 廿日岩 逞馬（北辰中）3回戦敗退	63kg級 西出 雛乃（笠間中）2回戦敗退
90kg級 高野 翔（北辰中）1回戦敗退	70kg級 生田 彩恵（県武）3回戦敗退
90kg超級 松本 陽向（邑知中）2回戦敗退	70kg超級 小坂 愛心（松任中）1回戦敗退

大会成績

〈 中 学 生 〉

◆第19回 中学生柔道錬成石川大会

R7/12/6　石川県立武道館

団体男子Ⅰ部　3位 中能登柔道教室・邑知中 団体男子Ⅱ部 1位 宝達中・犀川柔教・鶴来中　2位 北辰中 3位 石川県立武道館・加賀聖武館　3位 布水中
団体女子Ⅰ部 1位 笠間中 3位 小松桜木、高尾台中 団体女子Ⅱ部 1位 邑知中・志賀中・七尾市柔道協会 3位 中能登中・石川県立武道館　3位 鶴来中

◆第25回 石川県中学生新人柔道大会

R6/2/7　松任総合運動公園文化体育館啓武館

男子団体　優勝 高尾台中　2位 松任中　3位 七尾市柔道協会　3位 北辰中 女子団体　優勝 笠間中　2位 高尾台中　3位 小松桜木　3位 鶴来中	
男子個人	女子個人
50kg級 優勝 下風 勇翔（高尾台中）	440kg級 優勝 坂田 心音（鶴来中）
55kg級 優勝 古川 愛太朗（中能登柔教）	44kg級 優勝 大西 七夏（笠間中）
60kg級 優勝 廣田 大吉（小松桜木）	48kg級 優勝 西田 莉衣桜（高尾台中）
66kg級 優勝 中村 舷喜（七尾柔協）	52kg級 優勝 房 亜依香（小松桜木）
73kg級 優勝 新出 海龍（学院クラブ）	57kg級 優勝 嶋中 環希（小松桜木）
81kg級 優勝 一瀬 陽仁（七尾柔協）	63kg級 優勝 西出 雛乃（笠間中）
90kg級 優勝 林 銀寿（鶴来中）	70kg級 優勝 藤本 桃栞（笠間中）
90kg超級 優勝 中本 佑紀（内灘中）	70kg超級 出場無し

〈 高 校 生 〉

◆令和7年度 第33回石川県高等学校春季柔道大会

R7/4/20　石川県立武道館

団体男子Ⅰ部　1位 津幡A　2位 鶴来A　3位 鶴来B、学院大附属 優秀選手　深谷悠聖（津幡）、井海地力（鶴来A）、 坂井悠人（鶴来B）、吉澤大暉（学院大附属）
団体男子Ⅱ部　1位 航空　2位 羽咋工　3位 小松大谷、石川高専
団体女子　1位 学院大附属　2位 羽咋工　3位 金沢、市立工 優秀選手　福田真唯（学院大附）、水道愛奈（羽咋工）、 高岡芽生（金沢）、吉島莉音（市立工）

◆令和7年度　石川県高等学校総合体育大会柔道競技

R7/6/5～7　石川県立武道館

男子団体　優勝 津幡　2位 鶴来　3位 学院大附属　3位 県工 女子団体　優勝 学院大附　2位 羽咋工　3位 鶴来　3位 市立工	
男子個人	女子個人
60kg級 優勝 井海 地力（鶴来）	48kg級 優勝 三崎せれな（学院大附）
66kg級 優勝 樋口 和義（津幡）	52kg級 優勝 福田 真唯（学院大附）
73kg級 優勝 喜多 雄大（津幡）	57kg級 優勝 松本 日和（学院大附）
81kg級 優勝 吉澤 大暉（学院大附）	63kg級 優勝 中垣　栞（金沢）
90kg級 優勝 岡田凰之介（津幡）	70kg級 優勝 岩崎 花咲（学院大附）
100kg級 優勝 石川 銀十（鶴来）	78kg級 優勝 網谷 有紀（学院大附）
100kg超級 優勝 生田 恵樹（津幡）	78kg超級 優勝 山浦 依未（鶴来）

◆令和7年度 北信越高等学校総合体育大会柔道競技

R7/6/21~22　長野運動公園総合体育館

女子団体　3位 金沢学院大学附　3位 羽咋工業	
男子個人	女子個人
60kg級 3位 井海 地力（鶴来）	57kg級 2位 松本 日和（学院大附）
	3位 山﨑　愛（県工）
73kg級 1位 喜多 雄大（津幡）	63kg級 3位 河村 惺巴（金沢）
81kg級 1位 國本 宙良（鶴来）	
3位 吉澤 大暉（学院大附）	
90kg級 2位 岡田凰之介（津幡）	78kg超級 3位 中野里衣菜（津幡）
100kg超級 3位 生田 恵樹（津幡）	

◆令和7年度 全国高等学校総合体育大会柔道競技

R7/8/13~17　岡山県総合グラウンド体育館（ジップアリーナ岡山）

男子団体　津端 1回戦敗退	女子団体　金沢学院大学附属 1回戦敗退
男子個人	女子個人
60kg級 井海 地力（鶴来） 1回戦敗退	48kg級 三崎せれな（学院大附） 1回戦敗退
66kg級 樋口 和義（津幡） 1回戦敗退	52kg級 福田 真唯（学院大附） 1回戦敗退
73kg級 喜多 雄大（津幡） 2回戦敗退	57kg級 松本 日和（学院大附） 1回戦敗退
81kg級 吉澤 大暉（学院大附） 1回戦敗退	63kg級 中垣　栞（金沢） 2回戦敗退
90kg級 岡田凰之介（津幡） 3回戦敗退	70kg級 岩崎 花咲（学院大附） 2回戦敗退
100kg級 石川 銀十（鶴来） 1回戦敗退	78kg級 網谷 有紀（学院大附） 1回戦敗退
100kg超級 生田 恵樹（津幡） 1回戦敗退	78kg超級 山浦 依未（鶴来） 1回戦敗退

大会成績

〈 高 校 生 〉

◆令和7年度 石川県高等学校新人体育大会柔道競技

R7/11/13~15　石川県立武道館

男子団体 優勝 鶴来　2位 津幡　3位 日本航空石川　3位 金沢市立工業
女子団体 優勝 金沢学院大学附属　2位 津幡　3位 鶴来　3位 金沢

男子個人	女子個人
60kg級 優勝 釜谷 爽太郎（学院大附）	48kg級 優勝 三嶋 彩日（小松大谷）
66kg級 優勝 松平 泉（鶴来）	52kg級 優勝 川端優樹菜（金沢）
73kg級 優勝 池田空羽太（鶴来）	57kg級 優勝 中畠 美月（鶴来）
81kg級 優勝 柿島 音（鶴来）	63kg級 優勝 小野寺美星（学院大附）
90kg級 優勝 樫田 海秀（津幡）	70kg級 優勝 岩崎 花咲（学院大附）
100kg級 優勝 前田 源太（鶴来）	78kg級 優勝 山森 陽菜（羽咋工）
100kg超級 優勝 笠巻 篤史(学院大附)	78kg超級 優勝 中野里衣菜（津幡）
無段の部 優勝 林 康介（市立工）	

◆令和7年度 第48回全国高等学校柔道選手権大会石川県大会

1/17~18　石川県立武道館

男子団体 優勝 鶴来　2位 津幡　3位 市立工　3位 日本航空石川
女子団体 優勝 学院大附　2位 金沢　3位 津幡

男子個人	女子個人
60kg級 優勝 釜谷爽太郎（学院大附）	48kg級 優勝 三崎せれな（学院大附）
66kg級 優勝 松平 泉（鶴来）	52kg級 優勝 川端優希菜（金沢）
73kg級 優勝 池田空羽太（鶴来）	57kg級 優勝 中畠 美月（鶴来）
81kg級 優勝 ﾋﾞﾙｸﾞｰﾝﾄｩｸﾞｽ（航空）	63kg級 優勝 原田 芽衣（津幡）
無差別級 優勝 前田 源太（鶴来）	無差別級 優勝 山森 陽菜（羽咋工）

◆令和7年度 第48回全国高等学校柔道選手権大会

3/19~20　日本武道館

男子団体　鶴来 ベスト８
女子団体　金沢学院大学附属 1回戦敗退

男子個人	女子個人
60kg級 釜谷爽太郎（学院大附）1回戦敗退	48kg級 三崎せれな（学院大附）1回戦敗退
66kg級 松平 泉（鶴来）1回戦敗退	52kg級 瀬谷 美陽（羽咋）1回戦敗退
73kg級 池田空羽太（鶴来）3回戦敗退	57kg級 中畠 美月（鶴来）2回戦敗退
81kg級 ﾋﾞﾙｸﾞｰﾝﾄｩｸﾞｽ（航空）2回戦敗退	63kg級 原田 芽衣（津幡）2回戦敗退
無差別級 前田 源太（鶴来）1回戦敗退	無差別級 山森 陽菜（羽咋工）2回戦敗退

〈 大 学 生 〉

◆令和7年度 北信越学生柔道優勝大会（男子74回 女子34回）

5/18　長野県立武道館

男子7人制団体 3位 学院大 3位 北陸大 男子5人制団体 1位 金工大 3位 金沢大	女子5人制団体 1位 学院大 女子3人制団体 1位 学院短大

◆令和7年度 全日本学生柔道優勝大会（男子74回 女子34回）

6/28―29　日本武道館

男子団体 2回戦 学院大 1-5 関西大学	女子5人制団体 1回戦 学院大 0-3 福岡大学 女子3人制団体 1回戦 学院短大 0-1 札幌大学

◆令和7年度 北信越学生柔道体重別選手権大会（男子44回 女子37回）

8/30　石川県立武道館

男子個人	女子個人
60kg級	48kg級 松本光里（学院大）優勝
66kg級	52kg級 野上言佳（学院大）優勝
73kg級 村上亜塔（北陸大）優勝	57kg級 石丸海月（学院大）優勝
81kg級 牛山魁人（金工大）優勝	63kg級 横井芽依（学院短大）優勝
90kg級 原田盛弘（北陸大）優勝	70kg級 横井侑芽（学院大）優勝
100kg級 笹倉俊光（北陸大）優勝	78kg級 髙濱琉依（学院大）優勝
100kg超級	78kg超級 阿部遥音（学院大）優勝

◆令和7年度 北信越学生柔道体重別団体優勝大会（男子27回）

8/31　石川県立武道館

男子団体 1位 北陸大 3位 学院大	女子団体 1位 学院大

◆令和7年度 全日本学生柔道体重別団体優勝大会（男子27回 女子17回）

10/18～19　ベイコム総合体育館

男子団体 1回戦 北陸大 0-4 帝京科学大学	女子団体 1回戦 学院大 1-5 明治国際医療大学

◆令和7年度 IKAI Christmas CUP全日本学生柔道男女混合団体大会（第1回）

12/20～21　香陵アリーナ（沼津市総合体育館）

男女混合団体 決勝トーナメント
1回戦 学院大 0-4 近畿大学

大会成績

〈 一　般 〉

◆令和7年度石川県ジュニア柔道体重別選手権大会

4/27　石川県立武道館

男子優勝	女子優勝
60kg級 廣瀬 大和（北陸大）	48kg級 穴竈 美晴（学院大）
66kg級 阪田 泰治（学院大）	52kg級 野上 言佳（学院大）
73kg級 喜多 雄大（津幡高）	57kg級 石丸 海月（学院大）
81kg級 牛山 魁人（金工大）	63kg級 山岡 美空（学院大）
90kg級 岡田 凰之介（津幡高）	70kg級 横井 侑芽（学院大）
100kg級 深谷 悠聖 （津幡高）	78kg級 髙濱 琉依（学院大）
100kg超級 生田 恵樹（津幡高）	78kg超級 阿部 遥音（学院大）

◆令和7年度 第62回石川県体重別柔道選手権大会

6/1　石川県立武道館

男子優勝
60kg級 野上 健太（北陸大）
66kg級 広岡 瑛人（北陸大）
73kg級 若狭 智也（石川県警）
81kg級 中村 建太（石川県警）
90kg級 加藤 宏輔（石川県警）
100kg級 本出 達基（金沢刑）
100kg超級 上野 翔平（石川県警）

◆令和7年度 北信越ジュニア柔道体重別選手権大会

7/6　新潟県立武道館

男子個人	女子個人
73kg級 喜多 雄大（津幡高）第1位	8kg級 穴竈 美晴（学院大）　第2位
81kg級 牛山 魁人（金工大）第1位	52kg級 野上 言佳（学院大）第1位
90kg級 岡田 凰之介（津幡高）第1位	63kg級 山岡 美空（学院大）第2位
100kg超級 生田 恵樹（津幡高）第2位	70kg級 横井 侑芽（学院大）第2位
	78kg級 髙濱 琉依（学院大）第1位

◆令和7年度 国民スポーツ大会成年男子出場選手選考会

7/20　石川県立武道館

60kg級 優勝 廣瀬 大和（北陸大）
73kg級 優勝 井上 大 （札幌大）
90kg級 優勝 原田 盛弘（北陸大）
無差別級 優勝 須田 晃人（金沢刑）

◆令和7年度 第53回石川県社会人柔道大会

9/28　石川県立武道館

男子Ⅰ部 優勝 田中錬正塾A　2位 長原建材　3位 生田工務店　3位 かないわクラブA
男子Ⅱ部 優勝 田中錬正塾B　2位 小松桜木A　3位 かないわクラブB　3位 小松桜木会C
女子Ⅰ部 優勝 田中錬正塾　2位 小松桜木会

◆令和7年度 石川県段別柔道選手権大会

11/23　石川県立武道館

段外の部 優勝 武田 大空（金沢市立工）
初段の部 優勝 松井 颯士朗（津幡）
弐段の部 優勝 原田 盛弘（北陸大）
参段の部 優勝 池本 力哉（金沢刑務所）

◆令和7年度 石川県柔道選手権大会・石川県女子柔道選手権大会

1/25　石川県立武道館

男子個人	女子個人
優勝 中川 直治（金沢刑）	優勝 小坂 愛美（高尾台中教員）
2位 原田 盛弘（北陸大）	2位 髙濱 琉依（学院大）
3位 藤田 慶二（石川県警）	3位 山岡 美空（学院大）
3位 北山 彰（石川県警）	3位 田中 こころ（石川県警）

委員会報告

審判委員長　太田弘人

日頃より、審判活動へのご理解・協力、誠に感謝しております。先月、約２週間にわたり熱戦が繰り広げられた、ミラノ・コルティナ冬季五輪でも、各競技において日本選手が大活躍し、日本列島が多くの感動に包まれました。その一方では、やはりいくつかの競技（特に主観の入る種目）で、ミスジャッジや不可解な採点など、選手やチームにとっては暗い影を落とす場面もありました。

そんな中、本連盟主催の各種大会では、大きな誤審や重大事故もなく、この１年を無事に終えることができました。今年度は大きなルール変更があったものの、５月に行われた講道館講習のおかげで、県全体に正しいルールを周知する事もできました。

これからも、選手一人ひとりのために、公正で安全な審判を心がけていきたいと思いますので、どうか皆様の協力のほど、よろしくお願いいたします。

コンプライアンス委員長　畔田博文

令和６年度よりコンプライアンス委員会委員長を務めます畔田（くろだ）と申します。よろしくお願いいたします。令和６年度において，コンプライアンス違反に関する報告は０件となっています。今後もこの状態が続くことを願うところです。令和７年度は，全柔連のオンライン研修に加えて倫理規定を公開していくなど，倫理について考え各自の意識を高める取り組みも進めていきたいと考えています。また，競技者における人権意識についても検討していきたいと考えています。柔道の目的である「精力善用」「自他共栄」を意識し取り組んでいきたいと思います。ご理解とご協力よろしくお願いいたします。

普及振興委員長　近藤俊

今年度は通常の委員会活動に加え、長期育成指針に基づいた革新的パスウェイ実証実験【石川モデル】事業がスタートいたしました。今年度は皆様に説明の機会をいただきながら、可能なことから段階的に取り組んでまいりましたが、次年度以降はいよいよ本格的に事業を展開していく予定です。

普及振興委員会としては、石川モデル事業について県柔連の窓口としての役割を担い、関係各所への円滑な情報共有が随時なされるよう努めてまいります。また、普及振興委員会事業としても、各チームおよび各年代への支援体制の充実を図りながら活動してまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

安全指導委員長 野崎 健吾

県内では近年、重大事故の報告はありませんが、全国的には毎年、全柔連に頭部や頸部に関わる事故が報告されています。重大事故の件数は一時期に比べ減少傾向にあるものの、完全になくなったわけではなく、本年度も急性硬膜下血腫などの事故が発生しています。

事故は誰にでも、いつ起こるか分かりません。だからこそ、過去の事例から学び、常に「自分のこと」として捉え、日頃から安全意識を高く持ち続けることが大切です。

柔道の普及・発展には、安全の確保が何よりも重要です。地道な取り組みではありますが、今後とも安全指導へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

強化委員長　川端 健司

いつも強化事業にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。2025 年度は北信越柔道選手権大会において原田盛弘選手が優勝し、本県として 3 年ぶりに全日本柔道選手権大会への出場権を獲得しました。一方、国民スポーツ大会では成年・少年男子ともにブロック予選を突破することができず、本大会出場には至りませんでした。また、本大会に出場した女子も初戦敗退という結果となりました。今後は強化方法の見直しやふるさと選手の積極的な登用を進め、さらなる競技力向上に努めてまいります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

総務委員長　鈴木 貴士

事務局として１期を終えることができました。「県柔連」は県内柔道愛好者たちの集いです。この期間、なるべく多くの方に情報が入るように、また、多くの方の意見を吸い上げることができるように情報の開示に努めてまいりました。

「柔道」に関わった人たちの多くが笑顔で柔道に関わり続けることができる環境をつくることが、結果的に柔道が持続可能なものになっていくと考えています。より良い石川柔道にしていくべく、世代問わずご意見をお寄せください。引き続きよろしくお願いいたします。

審議委員長　堀　省吾

令和６年１月１日に発生した「令和６年能登震災」にから丸２年が経過し、以前の暮らしが戻りつつあるも、未だに進まぬ復興により、不憫な生活を送られている被災者がおられることも現実であります。

そのような中、皆様方のご協力もあり、審議委員会が主催する昇段審査については、全て無事に開催できたことに対し、厚く御礼申し上げます。

さて、年頭にあたり、審議委員会の活動としては、昨年と同様に「昇段の勧奨」を重点的に取り組んでいくところであります。

柔道の魅力といえば、相手を豪快に投げて一本を取ることが代表的なものですが、修業を積み重ねて昇段審査に合格し、初めて段位を得たときに巻く黒帯姿の自分自身を見ることも、柔道の最大の魅力であると考えております。

昇段は成長の証であり、後の人間形成に繋がるとの信念を持って昇段の魅力を皆様にお伝えできるよう頑張りますので、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

登録委員長　髙村尚太郎

登録システム Judo-Member の導入２年目を無事に終えることができました。各チームの責任者を中心に登録作業を進めていただいたこと、そして指導者・審判資格のオンデマンド講習の受講にご協力いただいたことに感謝申し上げます。

２０２５年度の石川県柔連メンバー登録数は、前年度比１０７％と登録者数を伸ばすことができました。２０２６年度は登録システムの更なる浸透を図るとともに、大会・イベント等の参加者の登録確認強化を進めていきたいと考えています。

今後ともご理解、ご協力のほどお願いいたします。

競技委員長　宮本征克

令和７年度、石川県柔道連盟主催１３大会すべてを開催することができました。これもひとえに、関係各位のご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

主管大会である県柔道選手権大会では、昨年から採用された旗判定導入に伴い、時間内に積極的な攻撃柔道が展開されました。また、今年度は段別大会も旗判定を取り入れた大会を実施いたしました。

出場者数につきましては、段別大会・段外の部で顕著に増加しました。令和５年度に５名であった出場者は、昨年度１２名、今年度１９名と年々増加し、多いに盛り上がりを見せています。これらは指導者各位の熱心なご指導の賜物と、深く感謝申し上げます。今後も選手達が日頃鍛錬した成果を多いに発揮できるよう、安心・安全な大会運営に取り組んで参ります。